

小学部 1 年生

タイトル
〇〇さんを知ろう集会をしよう（特活）
ねらい
小学校：対象児童を知る活動を通して、同じ学年の友だちが支援学校で頑張っていることを知り、これからの交流に期待を持つことができるようにする。 支援学校：好きなことや学習していること等について自己紹介したり、ジェスチャーや発声を通して自己表現したりすることができる。
内容
①居住地校児童が自己紹介し、めあてを確認する ②集会を行う ・居住地校児童、保護者、在籍校担任からの話を聞く ・クイズ、ダンス等の交流をする ③振り返りをする
参加の工夫
自己紹介時はジェスチャーや在籍校担任が提示するコミュニケーションボードを用いた。

タイトル
なかよし交流会（特活）
ねらい
小学校：支援学校児童の様子を理解し、医療的ケアを必要とする児童や他の大勢の児童と一緒に楽器やCD、拍手などの音やリズムを楽しむことができる。 支援学校：小学校児童との活動の中で気持ちを表情やしぐさ、発声で表出したり、関わりを受けて自分なりの方法で応えたりすることができる。
内容
リズム遊び じゃんけんゲーム
参加の工夫
活動の内容ごとに異なるテーマソングを流す 教材が操作しやすいように角につまみやリングをつける

タイトル
なかよし交流会（特活）
ねらい
<p>小学校：支援学校児童の様子を理解し、医療的ケアを必要とする児童や他の大勢の児童と一緒に楽器やCD、拍手などの音やリズムを楽しむことができる。</p> <p>支援学校：小学校児童との活動の中で気持ちを表情やしぐさ、発声で表出したり、関わりを受けて自分なりの方法で応えたりすることができる。</p>
内容
<p>リズム遊び じゃんけんゲーム</p>
参加の工夫
<p>活動の内容ごとに異なるテーマソングを流す 教材が操作しやすいように角につまみやリングをつける</p>

タイトル
ゲームで交流しよう（特活）
ねらい
<p>初めて会うみんなのことを知る。 学校とは違う雰囲気を感じ、自らの方法で気持ちを表現する。</p>
内容
<p>自己紹介 手遊び じゃんけん</p>
参加の工夫
<p>対象児童が取り組んでいる立位や介助歩行などを見てもらいながらゲームを通して関わる。</p>

タイトル
レクリエーション（特活）
ねらい
時間や場所を共有し活動することで互いの親睦を深める。
内容
自己紹介 フルーツバスケット
参加の工夫
地域とのつながりを維持し、共に学び共に生きる意識・関係を育成する。

タイトル
昔遊びを体験する（特活）
ねらい
地域とのつながりを維持し、共に学び共に生きる意識・関係を育成する。
内容
自己紹介 コマ 羽子板 おはじき けん玉
参加の工夫
視覚が弱い児童でも一緒に道具を持ったり、手の平でコマを回してもらったりすることで様々な感覚を使って体験できるようにする。